

神戸百店会  
だより



★ちんがらや秋の珍趣

“竹”展示会

日本美“竹”をテーマにちんがらや第34回展がオリエンタルホテルで、8月25・26日に催された。見事な竹シリーズは、あでやかにまたひっそりと竹の持つ雄勁さと清礎さを十分に、伝えた印象深い作品にこひいき筋も満足げな様子。黒留袖の粋な柄・小紋着尺のフアンタジー・中振袖の大胆な鮮かさは、神戸の呉服専門店ならではの新しい息吹きを感じた。



竹シリーズの作品

★四万人を集めた  
コトブキ夏祭り

9月、8、9、10日の3日間、お菓子のコトブキ武庫川工場新グラウンドで、「コトブキ夏祭り花のページェント」が催された。9日には交通遺児を招待

尼崎市長が「くじけず頑張ってほしい」と励ましの言葉をのべた。山城新吾ほか東映の女優陣も参加、楽しく盆踊り。夜店も百店舗あつまり、夏の夜を楽しむ人々は3日間で四万人、盛大な祭りとなった。

★絶対に合わないコーラス

国際会館で晴れの舞台・武庫川女子大音楽教授・柳蔵一先生の音楽生活40年記念コンサートが8月30日、国際会館で開かれた。鳳月堂の吉川進社長ほか三名のロータリー・コーラス・グループも応援出演、平均年齢70歳の自慢のノドを披露した。二部合唱がどうしても四部合唱になってしまったが、それでも拍手



ロータリー・コーラス・グループ

は一番大きかったのである。

★中川衣裳店

秋の新作展示会



オリエンタルホテル・展示会場にて

秋の結婚シーズンをひかえて、さる8月30日、オリエンタル・ホテル大宴会場で、中川衣裳店の花嫁衣裳新作展示会が開かれた。

打ちかけ、お色直し、ウエディングドレス、イヴニングドレス、広い会場もはなやかな彩りにホットな雰囲気。時代に対応してだんだん派手めな傾向がみられた。

★本成駒家浜野勝次郎氏

永田良一郎氏母堂逝去 8月24日本成駒家浜野勝次郎氏(43)が、8月28日永田良介商店永田良一郎氏の母堂みつゑさん(68)が逝去されました。つつしんでご冥福をお祈りします。



故 浜野勝次郎氏

●ショップ・トビックス

★舶来雑貨のサノヘが、秋の新着輸入雑貨コレクションを10月6日・11日、元町店で催します。

なお恒例のサノヘ・ファッション・ショーは10月28、29日、オリエンタルホテル・バラの間で開かれます。

★トア・ロードのオートクチュールエスターニートンが、この9月10日、明るく若々しいインテリアで新装開店しました。これから日曜日がお休みになります。

★トア・ロードのアクセサリーの店装飾では、11月1日、名古屋駅前、桜通り地下街に支店を開きます。

TEL 〇五二一五八六一七〇

★コーヒ通の人のために、9月1日、神戸新聞会館1Fサニー・タウンにUC、カフェ・メルカドがオープンしました。炒りたてのコーヒ豆からたてる器具(舶来品、たて方など、コーヒーに関するすべての相談はOK。あなただけの味をつくってはいかが?)

★国際会館1Fのベニー毛皮店が9月中旬に改装、より明るいお店になりました。10月中旬には新作ショーが開かれる予定です。

★国際会館1Fの御本真珠店では、10月23、24の両日、大阪ロイヤルホテルで、秋の新作パール展示会を行います。

★トア・ロードの婦人帽子店マキシンに新作がそろいました。今年の秋はブルームもや広いソフトな感覚のものに人気が集まりそうです。復古調のクラウンのや深いものも新しい傾向です。

# ボケットジャーナル

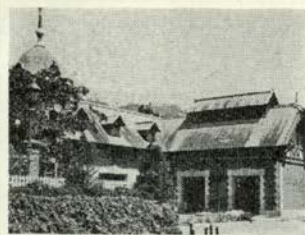


## ★相楽園に「展画廊」

中西勝個展でオープン

相楽園の中で、旧ハッサム邸の異人館とともに、訪れる人の眼を楽しませてくれていた相楽園展覧会が、今年4月、重要文化財の指定を受け、これを期して宮崎神戸市長の発案でギャラリィとして、10月1日にオープンする運びとなった。

この展覧会は、明治時代にできた小寺謙吉（戦後初代の神戸市長）のものであったが、文化財施設としてま



神戸の名所がまた一つ

た市民のギャラリィとして時代の波にのって貢献する途がいつたといえよう。

10月17日から11月3日まで、4年半もの「世界からつむり旅行」から帰ってきた二紀会中西勝画伯が、「私は外へ出て見た」をテーマに車による旅と異国の風土の面白味を描いた作品を約50点、その上に、旅行に用いた地図収集してきた石、貝がら、土器などを展示。第一日目には、愛用のフォルクスワーゲンを囲んでの楽しい語らいが用意されているという。

なお、管轄は神戸市社会教育課（33・8181）なのでギャラリィ使用希望の方はご連絡下さい。

★さよならが言えない街

田村ひろみのデビュー曲

神戸出身の大型新人歌手心にしみるサローヴォイスがキャッチフレーズの田村



さんちかタウンでお買物の田村ひろみ

ひろみが、9月26日、国際会館大ホールにおいて、神戸、元町、さんちかタウンのイメージを盛り込んだ、「さよならが言えない街」でデビューした。

神戸の楠町で生まれ、すぐに東京住まいとなった彼女が、「神戸の歌」のオーディションということもあって応募し、二百人の中から幸運をつかんだ新星だ。おもに舞台関係の仕事が中心で、おきやんな明るい役が多い。

9月20日から10月15日までの、神戸さんちかタウン5周年のキャンペーンで、神戸に来る。

神戸の歌を、そして神戸出身の田村ひろみを皆さんも応援してあげて下さい。本名・守屋節子。20才。

★神戸に新たな映画運動 Group' 70 活躍中

映画運動としては大阪、京都に先を越されている神戸で、実験的催しをプロデュースすることによって、映画に対する眼を開こうと

誕生日  
ありがとう  
運動



あなたの誕生日はいつですか  
☆誰にでも年に一回ずつめぐってくる誕生日を機会に、精神薄弱（ちえおくれ）の問題について考えようという運動です。

☆誕生日といえば、友人や家族でお祝いの会をもち、もっぱら飲食やプレゼントに焦点があっているようですが、もう少し積極的な意義のあるものにしてはどうでしょうか。

自分がひとりの価値あるかけがえのない人間として、この世に生を受けている意義をじっくりと考え、日々の生活を反省する機会としたいものです。

そして、同じく生を受けながら、ちえおくれであるがために、十分な教育も受けられず、差別されている人々のいる現実を思いをめぐらせ、自分に何ができるか積極的に考える機会としてください  
○本運動は、昭和四十年五月地元神戸市の特殊学級担任によって提唱して以来、協力者は、北海道から鹿児島まで全国に広がり、遠く海外からも多数のご協力が続いています。

（新しい資料やポスターなどや問合せは、下記の事務局まで）  
あなたのご参加をお待ちしています。

誕生日ありがとう運動事務局

神戸市東灘区小野柄通二の五

市立青陽養護学校内

TEL 011-5599



する若者が二人いる。

いそもとはるあき(22)、服部豊(21)。

沈滞した神戸文化界に、映画による流動的情况をつくりだし、行動力あるシネクラブを結成して映画だけでなく、いろんな方面に展開できる運動づくりを目指している。

その第一回が、10月10日からの「ブリリアントな欧州の巨匠たち」と題する、これまた素晴らしい映画特集である。場所は海員会館。

1 フェデリコ・フェリーニ  
8時・魂のジュリエッタ  
10月10日1時・6時

2 アラン・レネ  
24時間の情事・戦争は終わった  
10月10日6時・10時

3 ミケランジェロ・アントニオ  
1・2  
女ともだち・赤い砂漠  
10月31日5時・10時

4 ジャン・リュック・ゴダール  
恋人のいる時間、立派な詐欺師・男性女性  
11月14日5時・10時

詳しくは、月刊神戸つ子または月刊ブレイガイドまで。  
TEL 06・351・1743

### ★幻想のインテリア展 開かる

10月8日・11日、神戸商工貿易センター・サンボーホール二階で、住宅に関する総合展「ハウジング・ペヤー」に併催して、神戸新

聞主催の「幻想のインテリア展」が開かれる。

河口竜夫、今井祝夫、聴波襲治、丸本耕、福岡道雄、下谷千尋、村岡三郎、向井修二、植松圭二など、大阪神戸の若い造形作家25人の展示が予定されている

### ★洋画研究所《0》 さんちか広場で 大デッサン展開く!

初回のこの大デッサン展は、日本列島への提案として、白い布で型造った日本列島の全貌を空にかかげ、青森から下関までの180mの長い長いブルーの線路をさんちかの大通りへ移していった。

平面と立体と移動、行動を自分自身の脱皮へのきっかけにすればいいと半裸でブレイスレーションと書いたブラカードを持って移動する榎氏は語る。そこまでやるなら、なぜは型通り



さんちか広場の大デッサン展

のデッサン展をやるのか疑問を持つのだが……。

### ★コスモポリタンな女性二人が「国際コミュニケーションサービス」を発足

九月一日からコスモポリタンなセンスと学識経験をもち美人でもある、後藤アリス、川上也須子さん二人が、神戸ではじめての「A&Y国際コミュニケーションサービス」神戸市長田区二葉町10-7 TEL(七三一)五五七七を設立。

事業は、同時通訳、レセプション、商業英語アドバイザー、速記、タイプ、資料翻訳、観光ガイド、コン・スポンデーション、海外旅行オリエンテーション、語学セミナー。

新しい女性の可能性を伸ばす国際的な仕事で、彼女たちの活躍が期待されている。

### ★ファッションの秋 はなやかに開幕!

洋秀会と神戸ブラウス・グループの企画による神戸ファッションカーニバルが9月10日国際会館で開かれ、宮川賢一氏の演出は、スライド・若者の会話なども入り動きのあるショー展開をみせた。

### ☆ドライバメモ

#### バックランプ

川口 陽之  
(自動車評論家)



バックランプというのは、夜間に後退する時に、後方を明るく照らすためにだけつけられているのではない。

車の後部につけられているテールランプや、ナンバーランプは、夜間用のため、ヘッドライトをつけたら、同時に点灯するようにになっている。ところが、ブレーキランプと、バックランプは、昼間でも点灯するのである。昼でも、ブレーキをかけたことを後続車に知らせるためであり、バックすることを後方のものに知らせるためである。

運転免許証を持っているものはこのことを知っているが、一般の歩行者には徹底していないようである。車の後部で白色のランプが点灯したら、その車はバックする……というのを知っておいてほしい。

・「東京屋」オーダーショ

ーは、立庵長三氏の解説ですすめられ、エレガンスとモダンさのコーデインネイトが目をついた。

・未来派のおしゃれと題し「コマツヤ」ファッションショールがさんちか広場で開かれ、照明と名づけられた、カクテルドレス・恋の物語・スペインの椅子などが女性の夢を誘った。

★信楽を全国に広める  
若手やきもの作家展

一三〇年前からの歴史を持つという信楽焼は、日常生活に入りすぎて、その芸術的価値を知る機会がすくなかったが、今では美大を出た若い人たちが、ぞく

## 花時計



神戸のポスト万博

9月13日、日本万国博はいろいろな話題を残して幕を閉じた。

アジアで最初の万国博ということでは賛否両論、かんかんがくがくの頃から数えると4年を経ていることになる。

ぞくと信楽の里におしよせている。その成果の展示が読売テレビ美術課主事の池田竜介氏のアート・しがらきによつて、8月14日から19日まで、そこ画廊で「信楽若手やきもの作家展」と銘うつてなされた。

飾り陶板から灰皿、アクセサリーピン入れ、壁掛花瓶、ブローチといった小物類まで、若手らしい造型美の新鮮さにハツとする作品が多かった。

★君本昌久氏の詩と評論

「仮名手本詩乱四十七行その他」

神戸の詩人であり、神戸市民同友会の事務局長でもある君本昌久氏（長田区高取町）が、このたび、一九

入場者数は六千万人を超えるという万博史上最高を記録している。

参加国も最高とアジアで初めて開かれた万博はそれなりに成功したといえるだろう。

当初の予測どおり万博会場を中心にした道路計画が完成し大阪周辺の都市道路が立派になった。しかし、皮肉なことに外人のほとんどが、京都神戸はベリー・グット。大阪の町はノーコメントと開催地都市にはいたって冷たい、だから大阪が

六五、一九六九年の間の、

自らの詩と評論を、「仮名手本詩乱四十七行その他」（かなてはんしのみだれしぢゅうひちぎようそのほか）とまとめて、蜘蛛出版社から出版した。

13編の詩と、神戸詩人事件を扱った「戦前神戸詩人の受難」「神戸・モダニズム覚え書」「中原中也」論などの評論がある。

「詩を朗読する会」をすすめる君本氏の独特のリズム感と反歌でまとめあげる詩風は、繰り返し読むほどに迫るものがある。

頒価一、二〇〇円。購買希望者は発行所へ（62-483）

考えた大阪を世界に売り込もうという計画は皮算用に終わったことになる。万博が終ればポスト万博ということだ。

神戸のプロジェクトといえはポート・アイランド計画になる。

規模は万博会場の四倍現在の生田区の広さに比敵する。今も着々と埋立が進められている。何としても英知を集めて21世紀の都市を目指して実現してほしいものである。

△Y△

## ●KOBE POST

★毎日新聞神戸支局の電話番号が変更になりました。支局代表（〇七八）三七三二二。店局長用三七三二二八。英文毎日編集三七三二二〇です。

★編集企画センター（藤村哲也）が神戸市生田区元町本通2丁目6ノ1淡路ビル4F（TEL 33-10646）に移転しました。

★津高和一画伯が、ブラジルで個展を開かれ好評のうちに帰神され例年のごとく10月24日（11月3日まで、津高邸八西宮市高木西町三八（〇七九八）六七七五二四Vで、「対話のための作品展」が開かれます。秋の一日芝生の庭で、津高画伯の詩情ゆたかな絵をご覧ください。

★向井修二さんが「ムカイ・アート・コミュニティ」を設立されました。事務所は大阪市北区曽根崎上一丁目三〇番地八千代会館4F（TEL 312）九〇四三です。

★中西勝画伯の個展は、十一月十一日から十日間大阪梅田画廊で開かれます。

★望月美佐さんは堺の日蓮宗願本寺講堂のふすまの「日蓮正人の和歌」を書き、十一月初旬オーブンを。

★三愛シスルーギャラリで、塚本敬子さんが「メルヘン」をテーマに染色を展示します。十月一日から十五日まで。

★行動美術の松本宏画伯の個展が大阪のフォルム画廊で、十一月二十一日（三十日）まで開かれます。

★中西勝、網谷義郎、鴨居、西村功、松本宏の五人展が、神戸そごうで十月八日（十四日）まで開催。

★兵庫県立近代美術館長の坂本勝氏をはげます会が、十月初旬「蕎麦屋」で開かれます。



K O B E の  
気楽な雰囲気  
が  
楽しめる  
CLUB 《落》

\*



CLUB ふ き

落

市電中山手1丁目



生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515

秋の集いに!



〈北欧ヴァイキング料理〉

1400円 〈飲食税 140円別〉

飲みほうだい (サントリー純生ビール) + 食べほうだい  
クラウン・コーラ

一品料理、日本酒も準備いたしております



なごやかなムード

すばらしい眺望!

スカイサントリー

三宮交通センタービル9F TEL. 39 3705-6

□連載小説 6

# キリシタンの墓

小山 牧子

え・石 阪 春 生

## 呪う鳥

あらずじ 二年前、短期大学を卒業した佳は、神戸のかなり時代がかった高台の西洋館で、華麗なる歌人の母親蘭子との生活に息づまりを感じ、米国系海運会社のエイジェントに勤めになることにした。

ある夜、ボスのヒギンズ氏が、異国の夜のつれづれに佳を誘った。酔った佳とヒギンズ氏を街角で待ちうけていた古い老婆は、今夜は当面、西に向うな、と佳に言いきった。

「レッツ・ゴオ・ウェスト（西へ行こう）!!」

二人は、騒音にみちた通りをどんどん歩いた。西へ、西へ!!

二人が歩く両脇から突然ぬくぬくと立ちあがり、頭上の空を原色に染めあげる複雑にもつれあったネオンの糸それは、天にひそむ巨大な毒グモがたんねんに張りめぐらした絢爛とした巣に似ている。ひしめく家々は、よく繁茂した原始林の樹木を連想させ、アスファルトの歩道をたえまなく疾走し、同じように西に急ぐ乗用車の群れは、都市の密林に突如おこった獣たちのパニックである

「ゴオ・ウェスト!!」

酒の酔いが日常生活のなかで束縛されていたきゆううつな心を、完全に解きはなっていた。

密林を跋扈する太古の原人さながら、ヒギンズ氏は時



どきいたって人間らしくない蜜声をあげ、赤信号を無視して横断歩道をかけわたる。そうぞうしく警笛をならし怒りの感情をむきだしにして急停車する獣たち。

佳を縛るくさりもまた、すべて解きはなたれていた。

下山手から県庁前へ——、街路樹の若葉の匂いが生々しい木の体臭となつて、佳の鼻口をふくらませる。と、佳は突然むくむくと自分の身体が伸びだしてゆく奇妙な錯覚にとらえられる。いつか佳は、岩のようにかたい筋肉がこぶと盛りあがる褐色の原人の姿に変身したらいいのである。

空にかかると毒グモの巣に似たネオンの糸は、長い不器用な手をあげてはらいのける。ところどころ灯りをともしたビルの窓たちは、よく熟した果実、佳の腕がためらいなく伸びて、それらの果実をちぎり取り噛みずてる。



「行こう！ 西へ行こう！！」

中山手から大倉山、楠六交差点へ。街路樹に縁どられた歩道は、どこまでも続いている。

が、歩いてゆくうちに、佳の身体を熱くしていた酒精は、少しずつ放散されていった。一時間とたたないうちに、素裸で密林をのし歩く原人の奔放な心は佳のうちに、なえ、再びあの現代社会の一員、複雑な機械の一部品にすぎぬ常識人のがんじがらめの心がもどってきた。

アルコールがもたらす昂揚のあとに、ともすればおとずれる白々とした興ざめな気分。

湊川トンネルを通り抜けた時、佳は二人がむきになっている理由さえ思いだすのに苦労する状態になっていた。

蒼白な顔で立ちあがり、遠去かる佳たちを見送っていた易の老婆の顔は、再び佳の脳裏によみがえることはない。深い亀裂のような皺を刻んだ老婆の顔は、幼い頃に読みあさった童話の絵本の中のとこまと同じように、記憶の底にうずめられている。

すでに人通りが絶えた交差点では、海から山になまぬい風がアスファルトの大通りをはいのぼり、街灯が孤独な光りの輪を路面に投じている。

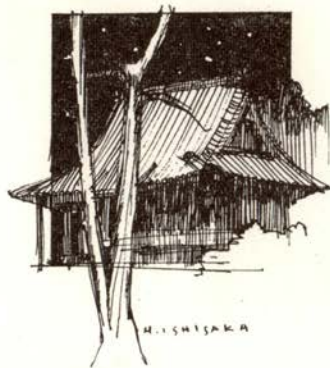
で、信号灯の灯の色が青に変わるのを待ちながら、佳は鼻白んだ表情で、丈高いヒギンズ氏を見あげていつてみた。

「我々は、さらに西にむかって歩かねばならないだろうか？」

すると、この異国人は両肩を大仰にすくめ答えるのである。

「アイ・ドン・ノオ……」

ヒギンズ氏の酔いも完全にさめて、しらふの彼は何に



もまして女性を鄭重にあつかう例の西欧の男たちの習性をも取りもどしているのである。

「しかし、私はケイが少し休んだ方がいいと思う」

「わたしもそれを願う……」

腕を組みあつて交差点をわたり、二人にふさわしいテイ・ルームをさがしたが見あたらずに、幾つ目かの街角を北側に曲った。

そこは上沢通りである。

通りにひしめきならぶ民家の灯はほとんど消えていたけれど、その一角には場末といった雰囲気かただよって佳は、うらぶれた静かさの底から、生活の騒音らしい奇妙なざわめきが響いてくるのを聞いたと思った。

失望し、引返そうとして立ちどまった二人の右手に古い寺がある。石の碑に浄土宗願成寺と彫られているその寺の風化した半開きの門に視線を投げながら、

「日本のテンブル（寺院）に私は非常なインタレスト（興味）を持つ」つぶやくように語るヒギンズ氏の目に、強い理智の光りが宿るのを、佳は見たと考えた。

「特に古いテンブル（寺院）はいい」

ヒギンズ氏は、足早やに寺の門に近づいてゆき、

「ヘイ、ケイ。もしユウが少し遅くなってもかまわないならば、私はこのテンブル（寺院）を訪問したいと思うが……」

「イヤア、ミスター・ヒギンズ・ネバー・マイン（かまわない）」

佳は、ヒギンズ氏について門をくぐった。

荒廃しつくした褐色の堂宇は、骸のようであった。同じように古びているが庫裡らしい平家の建物の奥に、ただ一つ奇妙に赤い灯がぼつんと灯って、風もないのに

堂宇の正面に張られた障子の破れ紙が、はたはたしている。

「ヘイ、ケイ。これは、ラフカディオ・ハーンの世界である」と私は思うが……」

あたりを見まわしながら、ヒギンズ氏がいう。

「わたしもそう思う」

やがて、ヒギンズ氏の目は、寺の荒れた土塀の一角に小さくあけられたくぐり戸を見つけた。この木戸も半開きのまま放置されている。

「あれは？」

ヒギンズ氏は、すぐに好奇心をむきだしにするたちの男だ。

「わたしは、たぶんその奥に墓があると思うが……」

佳が予測した通り、木戸のむこうは墓地になっていた。足をふみ入れる佳の記憶の底から、一瞬、あの易の老婆の薄気味悪い顔がおきあがった。が、その顔を冗談として打消すようにわざと快活な口調で、

「ミスター・ヒギンズ、氣をつけて下さい。悪魔はこんなところにいるのかも知れないです」

「ふむ、ふむ。これは、まさしくラフカディオ・ハーンの世界である」

ヒギンズ氏は、大満悦であった。

闇の中にひしめく墓石の群れには、寺の建物がつぼの荒廃の色はない。石たちは、人間や建物がもつよりは、はるかに長い生命の時間を寡黙にうずくまった姿勢でたえずつづけることができるからだろう。地底からニョキニョキと生えだしたかと思える石の群れは、闇でさえもはね返し、それ自身の力で白く冴えざえと輝いているではないか。

石のもつ堅牢さと量感に氣押されたためか、二人は奇妙にむつつりと黙りこみ、墓碑をぬって歩いていった。

墓地をひとめぐりし、再び土塀近くに帰ってきた時であった。佳は、苦むした小さな石碑のよこにうずくまる人間らしい形を見て惘然として立止まった。手は、しっ

かりとヒギンズ氏の骨つぼく大きな手をにぎっている。佳たちが近ずいたのを知ってか、黒い塊まりに似た人は顔をあげ、二人を見たようである。が、細部の姿は、闇がかくしている。

「墓場に、悪魔はおらぬよ……」

先に語りかけてくるその声は、男の、それも老人のものであった。

キモが冷える——、まったくそう表現するにびつたりの不気味さを味わった佳であったが、老人の意外に暖かい声に、心がなごんだ。

「ふむ。まったくこれも、まさしくラフカディオ・ハーンの世界である」

老人の出現をむしろ喜んでいらしいヒギンズ氏に、「ノオ、私は、そうは思わない」

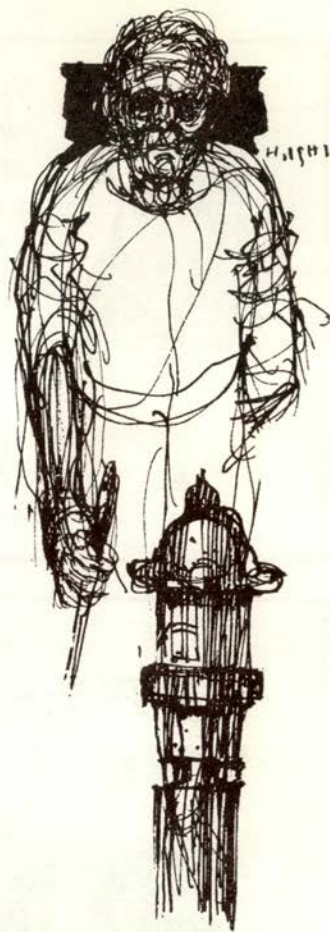
老人は、たいそう流暢な英語で応じてくるのである。「ハーンは、常に現実から逃がれ、非現実の美の世界におはれこむにとどまった。日本に心を傾けたのも逃避。彼にとつては、逃避以外のすべてがナッシングである。悪霊や靈魂について語ることすら、それは単に現実社会に適應することができぬ男の甘ったれた夢想に過ぎなかったと、私は考える」

闇をすかして、語り手の老人らしくない鋼のように強靱そうでしなやかな肢体がくつきりと立ちあがっている「それに反して、この石を見よ」

老人が指さした石は、何の変哲もない粗悪な石灯籠という形でそこにあった。

「この石碑には、かくれキリシタンの墓という伝説がある。ここに坐って、そつとこの目だたぬ石の肌をなでてみる。すると、私の耳に、何万という人間の暗いうめきが響いてくるのだ。おのれ自身がうちにもつ罪惡、業の深さにおののき、禁制を破つてそつと石の内側にクルスの像を刻みこみ、祈りに祈った弱い人間たちの嘆きや悲しみが、私の耳に響いてくる。彼らは、決して逃げたのではない。生の季節という暗い悲しみにみちた沼の底か





にいち早く目をとめた。中に漆黒の鳥が一羽、不安そうに羽根をふるわせている。

「ケイ、心配していたのよ」

眠たげな気配も見せぬ蘭子に迎えられる、

「ママどうした

の？ この鳥……」

「九官鳥よ。脇坂先生の奥様がとどけて下さったの。この鳥は、うちで飼われるのが最もふさわしいんだって。奥様とても恐ろしい顔をしていらっしゃったわ」

「まあ……」

佳の心が、暗澹とした色にかけた。

鳥籠に近ずいた佳の気配で、鳥は驚ろいたように身じろぎ、にぶく動きはじめた。ところどころの羽根が緑青に光る、女の濡れ髪のようにつややかな黒い羽根におおわれた鳥だ。

「カラスの子みたいねえ、九官鳥って。でも、なんだか気味の悪い鳥だわ」

佳が鳥籠のそばをはなれようとした時である。急にawatadしく羽ばたいた鳥が、老婆のようにしわがれた声でしゃべりたてた。

「ランコ、ランコオ、キットカエツテクル、ランコオ！」

愕然として見た蘭子の顔は、蒼白になっている。

「マツトルンヤゾオ、ランコ、ランコ、ランコ……」

老婆の声と聞こえた九官鳥のしわがれた声は、どこかあの安酒で声帯をつぶしてしまった脇坂紫峰のにこり声とも聞きとれるのであった。

△つづく▽

ら、高く高く天に手をさしのべ神を求めた。おのれのうちにある罪から、一瞬たりとも疑視の目をはなそうとはしなかった」

「では、これはかくれキリシタンの遺跡……」

佳のつぶやきに、

「そうですね、お嬢さん……」

老人は柔和なまなざしを佳にむける。

「この石を刻んだ人間の悲しみを理解するためには、あんたはまだまだ若すぎる」

寺と墓をとりまく星のある丸い空の縁は、なおもさまざまな電飾の灯がさざめく遠い街の灯のほてりで、オーロラのように燃えていた。そして、佳たちがたえず墓地の一角だけが深い堅穴の底にるように暗くかげつて

いる。

老人は、先に立って墓地をでながら、佳にいった。

「もう遅い……。若い娘が街をうろつくのには、ずいぶん遅い時間だと思いが……」

佳は、母の蘭子に対しては決してため従順な心で、この老人にうなずくのであったが……。

ヒギンズ氏に車で送られ、佳が家に帰りついた時、時刻はすでに午前一時近くになっていた。

娘を待つ蘭子の意志であるのか、明るい灯がともるロビーにあがった時、佳は、テーブルに置かれた古い鳥籠



Mr. Kent  
came to Kobe  
流行に左右されない  
本来のオシャレ  
それがKentです  
シックな  
スコッチ風の店舗  
それがFUnakiyaです

**Kent shop**  
**フナキヤ**

元町3 TEL<32>0356



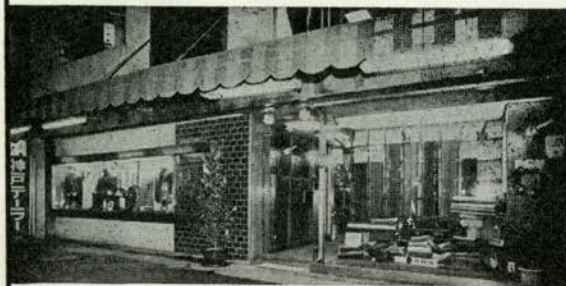
ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

**三恵洋服店**

元町4丁目 TEL ☎ 7290

高級紳士服専門店

**神戸テラー**



さんちかメンズタウン TEL ☎ 0388  
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ☎ 2817・3173

MEN'S SHOP

**セリヤ**

ダンディガイズだけが  
語りあえる店!

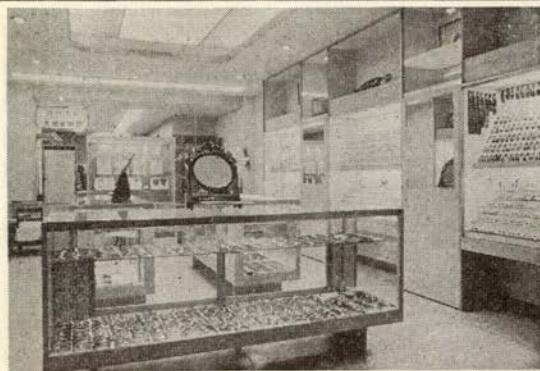
紳士服飾専門店

**千穂庵**

元町店 TEL34-6959  
メトロ店 TEL34-0550

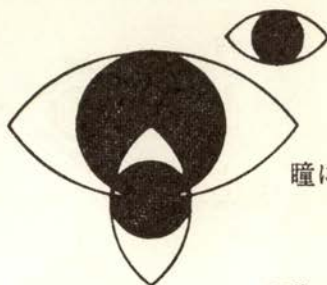






べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

新装開店 **太田 鼈甲店**  
元町4丁目 TEL(33) 6195



瞳に美しさを保つ  
スポーツに  
美容に  
現代の科学が生んだ  
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

**国際コンタクトレンズ研究所**

神戸市灘合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)  
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570

— オリジナル **L** サイズ —  
— 草履新発売 —

創業明治二十八年

**履物の山下**

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL (39) 0256



おもちゃの

**カ  
メ  
ラ**

三宮方面でのお買物は……  
さんか店 ファミリータウン  
三宮店 センター街大洋劇場東隣  
元町方面でのお買物は……  
元町店 元町通3丁目山側  
パンフ店 元町通1丁目二家前  
03 40045  
03 49669  
03 00090  
03 07688



およろこびの目の  
心からの贈り物に  
カメラの人形をノ

おすし  
てんぷら

栄 彌



営業時間

A.M. 11.30 ~ P.M. 9.

本店 大丸前・三宮神社東

TEL

33

5 5 7 7 2

支店

TEL

39

5 2 3 3

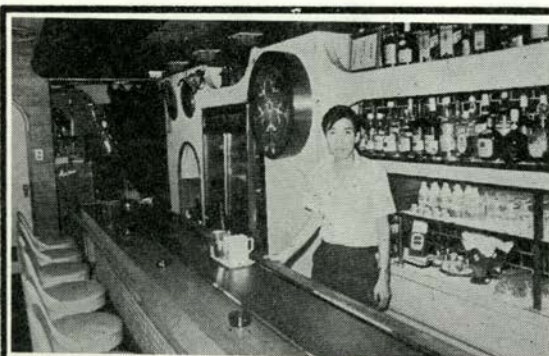
(毎週水曜日休み)



スタンド

クラブ ガーデニア

東門筋中島ビル 2F TEL 39 - 3329



精肉直営

まるたか

生田区北長狭通 1 丁目 25-1  
生田新道ビル地階

新世紀・



TEL (078) 39・8812

でんわ・

32 32 33  
〇〇 〇六 三三  
六三 五

コーベ三宮  
ムサシ

やっぱりうまい  
むさしのとんかつ



スナック

# カクタス

神戸三宮農業会館西上る  
東洋ビル1F TEL33-3153

DRINKING

café & rest

# ペンギン

芦屋市公光町7-10B-101  
日生不動産阪神芦屋ビル地下  
TEL0797(31)2710



夏の思い出を語る時が来ました。夏の強烈な太陽が、涼やかな秋風が肌に触れると懐かしくなってくる。

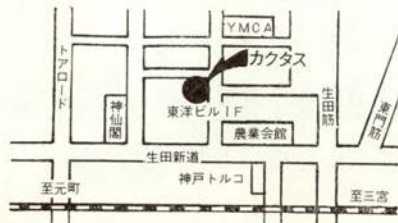
8月18日、気が遠くなるような夏空に、三宮東洋ビル1階にオープンしたのが、スナック「カクタス」である。

「カクタス」とは「くさぽてん」のこと、白い壁、白いランプの快い広さのインテリアに、メキシコ名物のソングレロがぶらさがる。

気楽に話せるママの富井愛子さんと秋の夜長を語りあうのもいいし、若い女性なら、藤間流の名取りである藤間紫君と騒ぐのも面白い。

落ちついた部屋感じが、ボックスにもカウンターにもあらわれて、ハンバーガー、サンドイッチで、秋の食欲とお酒の雰囲気をも満足させることができる。

営業時間 6:00 PM ~ 1:00 AM ビール ¥250.-



★「ペンギン」ガ 6ガツ10カ ゴゴ6シ オープンシマシタ。ハンジン アシヤ キタガワ 50メートル ヤヤオクマツトコロ アナタ ト アナタノ タメニデザインシタ 「ペンギン」。

エイギョージカンワ ゴゴ7ジカラ ゴセン3ジマデ。

ダイイチ ダイサン スイヨウビ ワ ヤスマセテイタダキマス。

こんな案内状が舞いこんだ。甲南から芦屋、西宮にかけて遊ぶ若者たちと、三宮界隈で遊ぶ若者たちとは、どこか違うところがある。芦屋のハイムードの夜を飽う貴重なスペースが、この café & rest. 「ペンギン」である。ミラーとコードペンダントが、静かなたたずまいの中のカフェコーナーの雰囲気をおもわしている。

芦屋で遊ぶ、芦屋で飲む、そのイメージを十分に楽しませてくれるのがこの「ペンギン」である。



# 曲線ハイウェイ

武田 繁太郎

え・横 塚 繁



★あらずじ 浜名湖北岸の小さな岬のうえに建てられた浜名湖サーピス・エリアで、多木洋介は艶のある薄い小麦色の肌をした若い神戸の女性、宇津康子を知る。黒いルーフレザーに黄色い車体のMVハードトップを駆ってのドライブに暮色が漂いはじめた頃、多木は康子とともに館山寺湖畔のホテルに入る。

ほのかな月明りに、遠くの湖面がぼんやりと銀色に光る中で、康子は、ふっと肩で秘めやかな吐息をもらして多木のなせるままだに崩れていった。ふたつの身体は快楽の忘我に浸っていった。それから十日ほどたった日の朝、康子から電話があった。久しぶりに浜名湖SAで逢瀬をもった多木と康子は、朝霧高原へ向った。疾走する鋼鉄の密室の中で、いつか二人はたがいの身体をよせあい、秀麗な富士のたたずまいが愛の炎を燃え上らせた。

こんなところで愛しあうつもりではなかった。そんな魂胆で、多木も、康子をここへ誘いこんだのではなかった。今夜は、山中湖のMホテルに予約をとってあった。だが、ここは無人の高原であった。カヤの茂みと、夜の闇が、車の姿を消してくれていた。

二人は、雄大な富士の裾野に、すっぱりと抱きこまれていた。この富士も、この夜のしじまも、このあわい月の光も、すべては二人だけのものだった。

この大自然のなかに溶けこんで、原始にかえった男と女のように、心ゆくまで愛しあう。世俗の巷では味わえない。それは、恋の最高の悦びのように思える。

多木は、康子を横抱きにして、唇を重ねたまま、手は自然と、彼女のストラックスのわきのボタンにのびていた。康子は、一瞬、たじろいだ。車のなかで愛しあうなど



彼女には経験のないことだったのだろう。

だが、そんなためらいも、すぐ康子の動作から消えた彼女にもまた、ここで愛しあうことが、自然な営みのように感じられたのであろう。

「いいわ。ちよっと待って」

康子は、多木の手を制すると、自分でストラックスを脱いでいった。身体をくねらせるようにして、下着もはいだ。薄闇のなかで、多木もズボンをずらしていった。

狭いフロント・シートは、窮屈だった。動作しにくかった。だが、そのことが、かえって、一種焦れるような奇妙な興奮を、二人のあいだに醸しださせていた。

「おいで」

多木は、自分の膝のうえに、康子を後ろむきにすわせた。ハンドルと多木の身体とのあいだのわずかな空間で、康子は、両脚をいっぱいひらいた恰好になって、男の膝のうえに身体をおとしていった。

「ああ！」

康子は、自分の身体の重みで、自然と男の身体をうけいれながら、身をそらせるようにして、かすかな呻きをもらした。

両の手は、身体の真下から突きあげられてくるショックに、思わず、空を切ったが、もがいたすえに触れたハンドルを、夢中になって握りしめていた。

多木は、背後から羽交いじめに、康子の豊かにもりあがった胸を、しっかりと抱きとめていた。

そのことのために、この運転席が設計されてでもあったように、二人の体位は、ハンドルとシートの狭い空間に、それなりにびたりと定まっていた。

ちかごろ、週刊誌などで、さかんにカーセックスの流行を書きだしている。だが、いったい、狭くなるしい車内で、どのようにして行なうのか。康子には、いまはじめて、その体位のひとつがわかったようであった。

未知なものにたいする好奇心が、康子の興味をそそりそれがいつそう彼女の官能を刺激してきたらしい。

両手で握っているハンドルが支えになって、康子の上半身は、エンジンをかけられたピストンのように、上下運動をはじめていた。誘われて、多木も、無意識に左右の水平運動をくりかえしていた。

康子の唇から、たえない呻きがもれていた。欣びの炎が、もう彼女の下腹部で燃えさかっているようであった。その炎に、みずからあおられたように、康子の動きは、いちだんと激しさをましっていた。

多木も、熱してきた。二人の動きは、しだいに鮮烈になっていく。スプリングのきいたMVのボディは、二人の動きにあわせて、カヤの茂みのうえで、リズムカルにゆれつづけた。だが、忘我の二人には、むろん、そんな車のきしみなど気づけなかった。

ながい、はげしい愛のまじわりのはて、康子の胸を羽交いじめにしていた多木の腕に、満身のちからがこもってきた。

一瞬、もだえるように多木はふるえ、その唇から、息を吸いこむような声にはならぬ叫びがほとばしった。

と同時に、康子も熱っぽい吐息をもらし、彼女は、硬直したように身体をのけぞらしていた。

多木は、ヘッドレスに後頭部をあずけたまま、しばらくは、激情の余韻に全身を浸らせていった。康子も、のけぞった面をがっくりおとし、ハンドルに上半身をもたせかけていた。そのまま、二人は動かなかった。

車窓からは、ほのじろい月の明りが射しこんでいた。夜の無人の高原で、二人の営みを知っているものは、月と、正面にそびえたつ富士だけだった。

やがて、多木は、ひっそりとした声で言った。

「いこうか」

「ええ」

康子も、夢からさめたような声でうなづいていた。

二人は、朝霧高原から、富士五湖の湖畔をぬって、その夢は、予定どおり、山中湖を眼下にみおろす丘のうえのMホテルに泊った。

ホテルの部屋でひとやすみして、一階のバーにでかけたときには、若い二人には、朝霧高原のカヤの茂みのなかでのカーセックスの余情は、もうさめていた。

寝酒のブランディを三、四杯あけて、三階の部屋に引きあげると、

「おいで」

多木は、康子を抱きあげて、すぐベッドに持っていった。新しい興奮が、彼の身内にこみあげていた。康子もあらがわなかった。

多木は、自分の手で康子の着ているものを剥ぎとると自分も手早く脱ぎ、たがいにあらわになった身体をからみあわせるようにして、康子を愛撫した。彼の唇は、その顔から、頸から、胸から、足のさきまで、全身をくまなくまさぐっていった。康子は、じつと目をこじたまま男に身体をあずけていた。

車のなかの営みにも、それなりのよさはあった。だがこうしてゆったりとしたベッドのうえでの営みには、やはり、しつぱりと身体のコまでぬれることのできるよさがある。

二人の身体は、十分に熱しきったところで、ひとつになった。二度目の営みが、多木を持続させた。はてもなく寄せてはかえず波のような男の動きが、うけいれる康子の五体を、その官能の波間に溺れさせた。

いつのまにか、康子の口から、酔い痴れたような欣びの声が、もれつづけていた。その反応が、多木の興奮を狂気したように絶頂におしあげていた。

ひとつになっていた二人の身体は、完全に融けあい、やがて、ほとばしる鋭い叫びとともに、同時に到着していた。

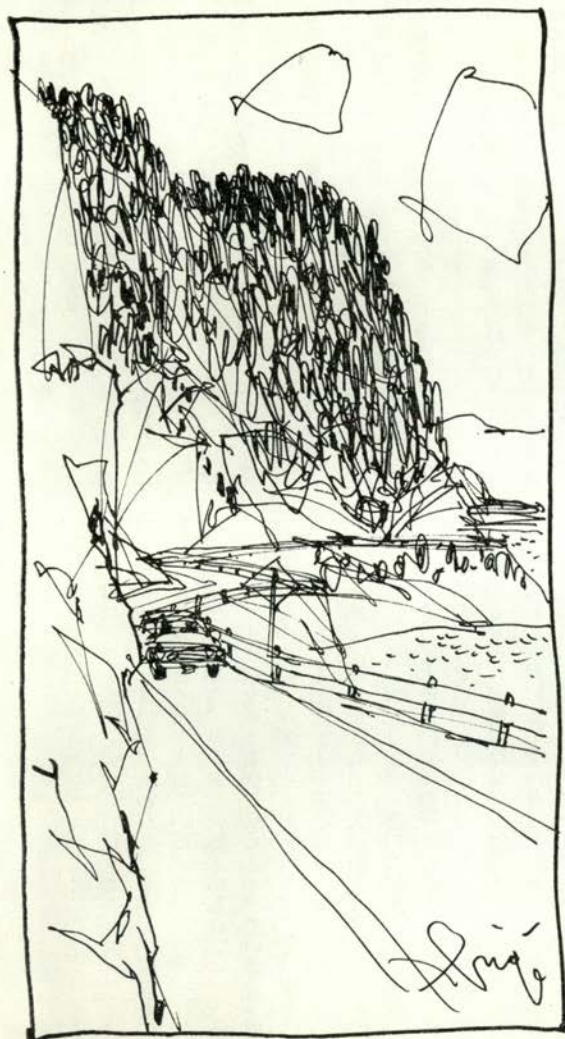
ながい余震のあとで、康子は、まだうつりと目をとさしたまま、

「どうしたの？ 今夜のあなたは、このあいだとは、べつの人みたい——」

と、不思議そうにつぶやいた。

「そりゃ、今夜の君が、まえよりもずっとすばらしかったからさ」

多木は、もう全身の精気が吸いとられてしまったような思いであった。たしかに、今夜の康子はよく燃えた。





# ★神戸の催物10月ご案内★

## ＜国際会館＞

★坂本 九とともに

10月5日(月) 2:00、6:00PM

会員制 民音公演

★三波春夫ショー

10月7日(水) 2:00、6:00PM

A¥1,800 B¥1,300 C¥700

★フラメンコリサイタル

＜伴・阿部舞踊研究所＞

10月11日(日) 7:00PM

入場料/¥600

★鶴岡雅義と東京ロマンチカ

10月20日(火) 6:30PM

演奏/ワールドキングオーケストラ

S¥1,600 A¥1,200 B¥900

主催/ラジオ関西・ディリースポーツ

・神戸新聞会館・サントV

★審判

10月8・9日(木・金) 6:15PM

10月10日(土) 1:30PM

入場料/会員¥650 入会金¥100 労演公演

★カーメンキャバレロ

10月26日(月) 6:30PM

会員制 民音公演

★デューク・エイセスリサイタル

10月27日(火) 6:30PM

出演/デューク・エイセス 古屋真由美

司会/永 六輔 演奏/横内章次カルテット

主催/神戸新聞社・ディリースポーツ・ラジオ関西・サ

ンテレビジョン S¥1,500 A¥1,000 B¥800

★ピンキーとキラーズ

10月29日(木)

4:00PM・会員¥700、入会金¥100

7:00PM・会員¥900、入会金¥100 労演公演

＜海員会館＞

★ベギー・葉山リサイタル

10月2日(金)

★ブリリアントな欧州の巨匠たち

1. F・フェリーニ特集 10日10月(土)

「8½」 1:00PM

「魂のジュリエッタ」 3:00PM

2. アラン・レネ特集 入場料/¥400

「24時間の情事」 6:00PM

「戦争は終わった」 8:00PM

3. M・アントニオーニ特集

10月31日(土) 入場料/¥400

「女ともだち」 6:00PM

「赤い砂漠」 8:00PM

★カチューシャ舞踏団

10月20日(火)

＜県民会館＞

★堀 都子シャンソンリサイタル

10月11日(日)

★山口博子バイオリン演奏会

10月17日(土) 6:30PM 入場料/¥500



魂のジュリエッタ

た。館山寺のときは、多木に黙って払わせていたのである。ホテルをでるとき、支払いは、康子がすると言いだした。多木は、多木の横抱きに抱きしめたまま、ふかい眠りにおちていった。

翌朝は、十時ちかくまで、二人とも、ぐっすり眠りこけた。目をさますと、窓いっぱい、富士がくっきりと浮んでみえた。

「今日は、ついでるな」

多木は、晴れ晴れとした面持ちで、富士の頂きのあたりを仰いだ。こんなあざやかな富士をみられる日は、この山中湖でも、そう多くはなかった。

「昨夜の富士とは、まるきり表情がちがっているのね。ここからの眺めも、すてきだわ」

康子も、窓ぎわで多木とならんで、富士の全貌をたんのうしていた。その面には、もう昨夜の快樂の名残りはあとかたもなかった。

「今日は、ついでるな」

多木は、多木の横抱きに抱きしめたまま、ふかい眠りにおちていった。

翌朝は、十時ちかくまで、二人とも、ぐっすり眠りこけた。目をさますと、窓いっぱい、富士がくっきりと浮んでみえた。

「今日は、ついでるな」

多木は、多木の横抱きに抱きしめたまま、ふかい眠りにおちていった。

「いいよ。まかせておけよ」

多木は、財布をだしかけたが、康子は、その手をおさえて言った。

「こんどは、あたしが誘ったんだから、あたしに払わせてよ」

さすがに、多木は、むっとした顔になった。

「冗談じゃないよ。こっちは、誘いの電話もかけられないんだぜ。誘ったほうが払うって言うんなら、じゃ電話番号をおしえろよ」

「いいわ。それなら、こんどからは、代りばんこに払ったらどお？」

康子は、多木の不満を相手にしなかった。

なんて女だろう？ と、多木は首をかしげる思いである。

若い女の身で、八十七万円もする車を独りで乗りまわしている。それで、デイト代は交代でだしあおうと言う指には、かなり大きなアイデアがひかっていた。持ちものだって衣袋だって、まずは一流品ばかりである。

神戸のブルジョワ娘なのか？ それとも――？ 依然として、康子は身許をあかそうとはしなかった。

△つづく△





# 神戸のうまいもんとドリンキング

## ★日本料理

阿なご寿司 青 辰  
神戸市生田区元町通3-184  
TEL 33-3435

讃岐名代うどん あ こ や 亭  
神戸市真谷区旗塚通7-5  
TEL 23-6300

和 食 く れ な い  
神戸市生田区中山手通1-1-111  
TEL 33-0494

かっ ぱう 古 紋  
神戸市生田区花隈町45  
TEL 33-0240

鍋もの・おむすび 悟 味 西  
お茶漬・がばた 神戸市生田区北長狭通1の20 TEL33-3848  
三宮さんちかタウン TEL39-5319  
お茶漬・おむすび ふ る 里  
鍋 も の 神戸市生田区北長狭通2の1  
TEL 33-5535

た こ 焼 た ち ば な  
三宮センター街(旧柳筋) TEL 33-0572

御 食 事 処 め ば え  
生田区下山手通2丁目31  
TEL 33-6792

料 亭 大 し ま  
真谷区熊内町6丁目39の6  
TEL 22-1360・1945

割 烹 喜 久 重  
生田区元町通2丁目82  
TEL 33-1915・39-3385

## ★西洋料理

レストラン ア ポ ロ ン  
ティーバーラー 神戸市真谷区八幡通5丁目6  
TEL 25-3231

レストラン 鹿 川 <あらかわ>  
神戸市生田区中山手2-9  
TEL 22-8547・23-3315

純フランス料理 エ ス カ ル ゴ  
神戸市生田区三宮町1-22  
三宮センター街裏 TEL 33-5034

グ リ ル サ パ ー カ ル ム  
神戸市生田区北長狭通3丁目5番地  
トアロード アーバンビル2階 TEL 39-4805

レストラン 男 爵  
神戸市生田区中山手1-18  
山手第一ビル1F TEL 24-0778

レストラン 花 屋 敷  
三宮フラワーロード市役所前  
TEL 25-2109

鉄板グリル き ゃ ん ど る  
神戸市生田区北長狭通2-22  
TEL 33-1183

レストラン キングスアームス  
神戸市真谷区磯辺通4-61  
TEL 22-3774

グ リ ル ケ ー ン ズ  
東店 生田東門筋 TEL39-0159  
西店 農業会館西下 39-3212

レストラン シャトーブリアン  
神戸市生田区北長狭通3丁目5番地  
トアロード アーバンビル地階 TEL 33-2050

レストラン&サバー サン・ジュリアン  
神戸市生田区栄町2丁目11 阪神元町駅西口浜側  
TEL (33) 9533 100米桜荘地下

グリル・鉄板焼 月  
神戸市生田区北長狭通1-24  
生田神社前 TEL 33-2509

レストラン テキサスターバン  
神戸市真谷区八幡通5-95  
神戸市役所前 TEL 22-7139

イタリア料理 ドンナロイヤ  
神戸市生田区明石町32  
明海ビル地階 TEL33-7158

レストラン ハイウェイ  
神戸市生田区下山手2-20  
TEL 33-7622

ピッツアハウス ビ ノ ッ キ オ  
神戸市生田区中山手2-101  
TEL 33-3545

レストラン フ ッ ク 東 店  
神戸市生田区栄町1-5-3  
TEL 32-3207

グ リ ル ブ ー ン  
神戸市生田区北長狭通3-5  
TEL 39-1514・33-0694

レストラン ミリオナークラブ  
生田区山本通2丁目50の2  
レストラン 23-9393-3  
メンバーズ 22-1162

ステーキハウス れ ん が 亭  
神戸市生田区下山手通2丁目34  
TEL 33-7168

## ★喫茶

フオーク ローストシティ  
ウエスタン 神戸市生田区三宮町3丁目22  
TEL 33-3770

宮 水 の にしむら珈琲店  
コーヒ ー 中山手 店・神戸市生田区中山手通1丁目70  
TEL 22-1872・23-9524  
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目3 5  
TEL39-0669

modern Jazz & Coffee さ り げ な く  
生田区北長狭2-22 TEL 33-9762

## ★CLUB & BAR

く ら ぶ 阿 似 子  
神戸市生田区中山手2丁目89  
TEL 33-6069

c l u b 飛 鳥  
神戸市生田区中山手1丁目117  
TEL 33-7627

c l u b S <エ>  
神戸市生田区下山手通2丁目6  
TEL 33-2406・33-8993

エドワーズ倶楽部  
神戸市生田区北長狭通1丁目28  
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 39-3300

c l u b オ ナ シ ス  
神戸市生田区中山手通1丁目  
日源ビル2F TEL32-3520

c l u b K O T O B U K I  
神戸市生田区三宮町2丁目26  
三宮本通り TEL33-1875

c l u b 小 万  
神戸市生田区東門筋中島ビル3F  
TEL 39-0638・4386

c l u b さ ち  
神戸市生田区中山手通2丁目75  
TEL 33-7120

クラブ ジャルダン  
神戸市生田区中山手通1丁目111  
TEL 33-8589

クラブ ブルーリボン  
生田区下山手通1丁目5  
TEL 33-4558

c l u b ル イ ス  
神戸市生田区下山手通2丁目29  
コーベビル地下 TEL 39-5065

クラブ 鈴  
生田区中山手1丁目111 TEL 33-2403

c l u b な ぎ さ  
神戸市生田区中山手通1丁目111 TEL 33-8626

c l u b 落くふ き>  
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515  
く ら ぶ ぶ ー げ ん  
神戸市生田区中山手通1-1-111  
TEL 33-8593

c l u b Moon Light  
B A R 神戸市生田区北長狭通1丁目24  
TEL 33-0886・39-2696

クラブ る ふ ら ん  
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 33-2854

クラブ ヤングベル  
神戸市生田区中山手通2丁目89  
光ビル1階 TEL 33-3052

## ★STAND & SNACK

ス タ ン ド 英 国 屋  
生田区下山手通2-6 相互タクシー横  
TEL 33-1100 33-6600

ス ナ ッ ク エ ル ソ タ ノ  
神戸市生田区下山手通 TEL 33-6620

ス タ ン ド 人 魚  
生田区中山手1-240 TEL 33-3756

ス タ ン ド グラムール  
生田筋ビル地階 TEL 33-4637

おとぎの国 ぴーたーばん  
神戸市生田区北長狭通2丁目1  
金剛山南角 TEL 32-1380

スナックバー リチャード  
神戸市生田区山本通1丁目9  
小寺マンション1F TEL 24-3041

ス タ ン ド さ り げ な く  
生田区下山手通2丁目31  
生田筋上高地西入 TEL33-3714

グラタン小屋 5 つ の 銅 貨  
神戸市生田区北長狭通2-14  
金剛山西入 TEL 39-1438

ス ナ ッ ク ビ ジ ー ビ ー  
神戸市生田区中山手2丁目 TEL 39-4582

ス タ ン ド 京 子  
生田区中山手1丁目91サッポロ西隣2F  
TEL 33-6635

ドリック 薔 薇 屋  
ス ナ ッ ク 生田区北長狭通5丁目19-4  
TEL 35-4311

ス ナ ッ ク シルクロード  
神戸市生田区生田神社前  
ふじやビル2F TEL33-1359

洋酒の店 キャンテイ  
神戸市生田区北長狭通2丁目3  
TEL 39-3060・39-3010

DRINK スネカジリッ子  
S N A C K 神戸市生田区下山手通2丁目  
永晃ビルB1 TEL 39-8708

ス タ ン ド 勢 津  
神戸市生田区下山手通1-5  
ゼウス街 TFL 39-0516

素 舌 洞 で っ さ ん  
神戸市生田区北長狭通1丁目258  
三宮映劇山入 TEL 33-6778

S T A N D ア ト ラ ス  
生田区中山手通1丁目95  
TEL 33-5433

ブレイスナック バレンタイン  
神戸市生田区中山手通2丁目101  
大津ビル2階 TEL32-2967

S T A N D F A N F A N  
神戸市生田区下山手通2丁目29  
TEL 39-1410

縁のワイナールーム み か げ  
神戸市生田区中山手通1-12  
東門筋入 TEL39-3688

night cap む ら か み  
神戸市生田区加納町4丁目  
但馬銀行北小路入 TEL39-2616

ス タ ン ド クラブ・ガーデニア  
神戸市生田区中山手通1丁目115  
東門筋中島ビル2F・TEL 39-3329

S N A C K 山 の 手  
神戸市生田区中山手通1丁目  
ソネビル1F TEL22-3637

ス タ ン ド ば ん ぶ ー  
生田区下山手通1丁目6の5  
東新ビル地階 TEL 39-8734

淳子の店 娑 (SARA) 羅  
生田区中山手1丁目91  
TEL 39-1647

ス ナ ッ ク K E N T  
神戸市生田区中山手通1丁目91  
TEL 33-9391

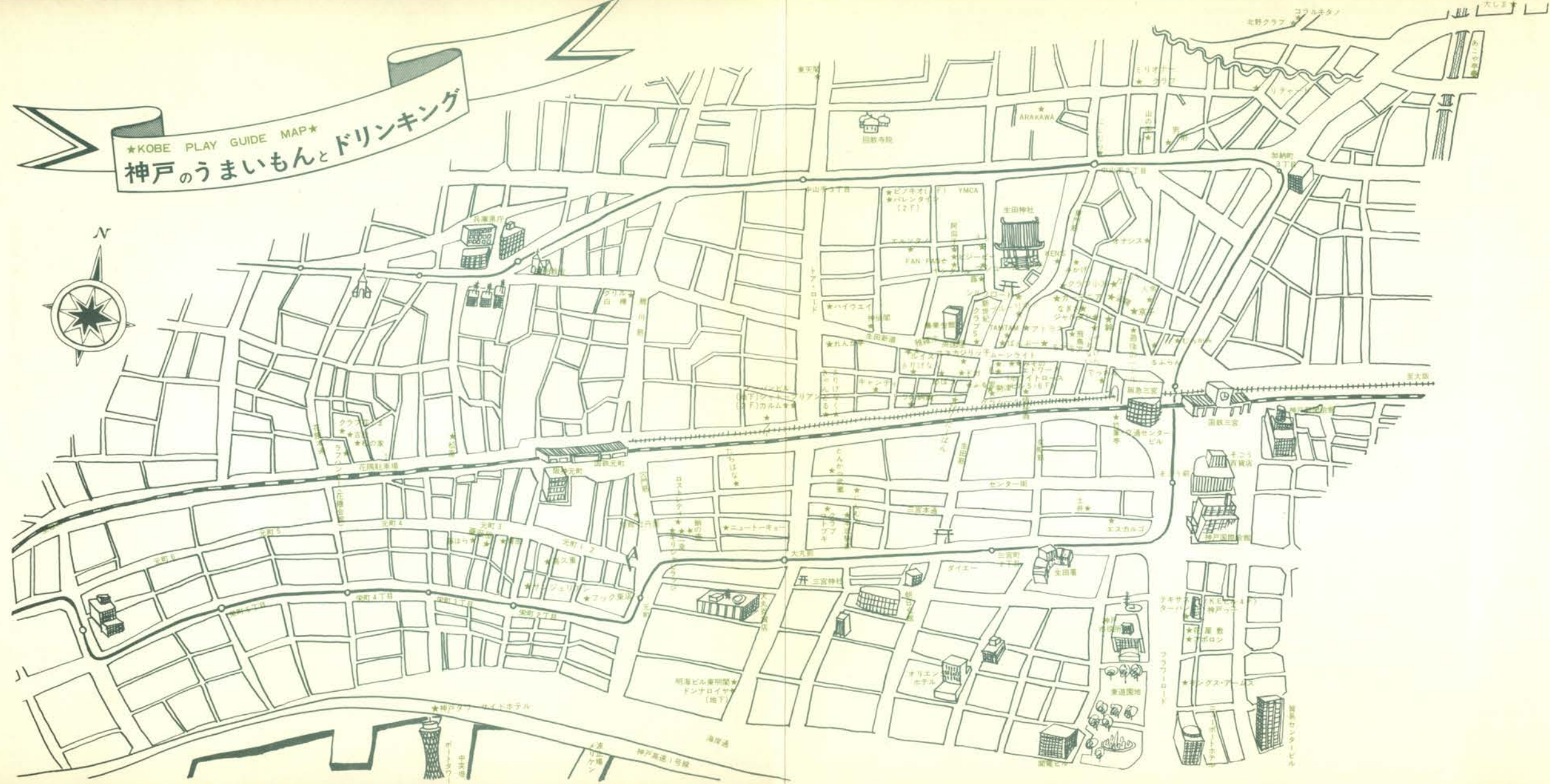
す な っ く 雅 羅 沙  
神戸市生田区下山手通2-29  
神戸ビル1F TEL 39-8894

s n a c k MORE MORE  
神戸市生田区中山手通1丁目107  
TEL 33-4728

レストラン・バー 最後の1ドル  
神戸市生田区北長狭通1丁目  
チエリービル3F  
三宮生田新道山側 TEL39-2173



★Kobe PLAY GUIDE MAP★  
神戸のうまいもん＆ドリンキング





ちよっといま  
いさなお部屋が  
ほい!



そんなとき、バツグンに便利なのが、レンダールーム  
〈貸室〉「レニア」。麻雀に商談にささやかなご会食・  
スナックなど。社用私用にお気軽にご利用下さい。

生田神社東Y.M.C.A浜側ヒカリビル3階。

くわしくはお電話で——。



レンダールーム

レニア

生田区中山手通2丁目38  
光ビル3階  
TEL. 39-1497・1498

新装開店!



「ふる里」が生まれ変わりました!!

神戸に初めて、お茶漬・おむすび・鍋ものの店として創業20年  
おなじみのふる里が.....

- [店 内] 神戸っ子好みの広々としたカウンター、包丁さば  
きを見ながら召上れ♪
- [ふ ん い き] 「飯を食おうじゃないか」  
若くて気のいい板前さんと言葉をかわしながら  
飯を食おうじゃない!!
- [変わったこと] 定食にサラダがついている、女の子がよろこぶ  
こと、うけあい!!!

まあ、のぞいてごらん、すべてあなた好みのお食事処です

メニュー 定食 ¥ 500 おむすび定食 ¥ 350 鍋もの ¥ 800

カウンターお食事処  
営業時間 PM 5:00 ~ AM 1:00

ふる里  
(悟味西姉妹店)

神戸三宮生田筋(生田神社前)  
TEL 33-5535